

---

# 平成25年度予算第一特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査

平成25年3月4日

質問者（質問順）

- 1 小 粥 康 弘 委 員 (民 主 党)
- 2 高 橋 正 治 委 員 (公 明 党)
- 3 藤 崎 浩太郎 委 員 (み ん な)
- 4 白 井 正 子 委 員 (共 産 党)
- 5 藤 代 哲 夫 委 員 (自 民 党)
- 6 黒 川 勝 委 員 (自 民 党)

こ ども 青 少 年 局

# 局 別 審 査

## 1 小 粥 康 弘 委員（民主党）

### 1 保育所待機児童ゼロの今後の課題について

- (1) 25年4月時点での待機児童ゼロの見通しについて、所管局長としての見解を伺いたい。
- (2) 今後、待機児童がリバウンドしないように、どのように取り組んでゼロを継続するのか。
- (3) 整備が望ましいエリアは、主にどのようなエリアか。
- (4) 保育所用地としての土地に余裕がない「整備が望ましいエリア」に、どのようにして保育施設を整備するのか。
- (5) 25年度に新築整備する保育所の定員規模や年齢構成について、どのように考えているのか。
- (6) 保育の質を担保し、利用者の満足度をあげることにしっかりと取り組むべきと考えるが、考えを伺いたい。

### 2 子ども・子育て関連3法について

- (1) 新制度のもとで、どのように横浜市の独自施策を検討していくのか。
- (2) 対象児童が小学6年生までとなることの影響と、そのことに対する考えを伺いたい。
- (3) 分割支援を15か所とした根拠とその選定の考え方を伺いたい。
- (4) より良い制度となるよう、更なる国への働きかけが必要と思うがどうか。
- (5) 円滑な放課後児童クラブ運営のための今後の工夫について、伺いたい。

### 3 障害児の施策について

- (1) 学齢後期障害児支援事業の過去3年間の利用実績の推移と支援内容の特徴について、伺いたい。
- (2) 成人期への継続的な支援に向けて、どのように取り組むのか。

- (3) 新たな重症心身障害児施設の職員確保について、市として何らかの対応をするのか。
- (4) 新施設が整備されるまでの間、入所を待ちわびている在宅の重症心身障害児者へのどのような支援を行っていくのか。
- (要望) 新施設の整備は重要度の高い事業なので、滞りなく進めてもらうことを要望します。

#### 4 パーソナル・サポート・サービスモデル事業の終了について

- (1) パーソナル・サポート・サービスモデル事業の3年間の実績について、伺いたい。
- (2) 24年度のパーソナル・サポート・サービスモデル事業と25年度の若者サポートステーション機能強化事業の予算額及び財源について、伺いたい。
- (3) パーソナル・サポート・サービスモデル事業での支援を若者サポートステーション機能強化にどのように引き継いでいくか。
- (要望) これまでのモデル事業で培ったノウハウや人材をフルに活用して、利用者一人ひとりの状況に応じた支援が継続されるよう要望します。
- (4) 40歳以上の利用者の引き継ぎにおける健康福祉局との連携について、副市長に伺いたい。

1 児童虐待対策の推進について

- (1) 児童虐待の発生状況に対する認識について、伺いたい。
- (2) システムを構築してデータベース化することで、児童虐待の防止に今度どのように活用していくのか。
- (3) 養育支援台帳システム改修の今後の進め方について、伺いたい。
- (4) 区役所と児童相談所の連携と役割をどのように考えるのか。
- (5) 地域の関係機関との連携が重要であると考えているが、どうか。

2 放課後施策について

- (1) 現在の放課後事業の実施の主旨と実施状況について、伺いたい。
- (2) 各事業の保護者の参加状況について、伺いたい。
- (3) 事業には、保護者はもっと主体的にかかわっていくことが必要と考えるが、考えを伺いたい。
- (4) 今後、子ども・子育て関連3法の対応を検討する中で、放課後児童クラブだけでなく、放課後事業全体について検討する必要があると思うが、考えを伺いたい。

3 横浜保育室の移行支援について

- (1) これまで、横浜保育室が認可保育所に移行した件数はどの程度あるのか。
- (2) 横浜保育室が認可保育所に移行するにあたり、課題となっていることは何か。
- (3) 現在横浜保育室が使用している建物が、認可保育所の基準に適合しない建物である場合、どのように対応していくのか。
- (4) 小規模保育事業への移行支援策については、どのような状況にあるのか。
- (5) 今後の横浜保育室の移行支援策のスケジュールについて、伺いたい。
- (6) 横浜の財産である横浜保育室の人材や環境を生かしながら、新制度に移行できるよう支援を進めていくべきと考えるが、副市長の見解を伺いたい。

#### 4 保育コンシェルジュについて

- (1) 保育コンシェルジュを配置してどのような実績・効果があったのか。
- (2) パーソナル・サポートという視点での保育コンシェルジュの配置の効果について、伺いたい。
- (3) 保護者ニーズを満たすだけでなく、既存の保育施設やサービスを最大限活用するために、保育コンシェルジュ機能を今後どのように充実させていくのか。
- (4) 待機児童解消を継続していくために、保育コンシェルジュが効果的に機能する区局の連携体制について、伺いたい。

#### 5 エコ保育所について

- (1) 制度のねらいはなにか。
- (2) エコ保育所の認証項目はどのようなものがあるのか。
- (3) これまでの認証の実績を伺いたい。
- (4) 認証取得に向けたインセンティブはどのようになっているか。
- (5) エコ保育所認証制度との関連も含めて、蓄電池導入補助制度のねらいはなにか。
- (6) 市が、蓄電池を導入した保育所に対して活用方法を手厚く指導する必要があると考えるが、どうか。
- (7) 今後のエコ保育所制度推進における他局との連携に関する考え方について、副市長に伺いたい。

#### 6 若者自立支援について

- (1) パーソナル・サポートという支援のあり方の必要性について、伺いたい。
- (2) パーソナル・サポート・サービスモデル事業について、協働という観点からの評価を伺いたい。
- (3) 今後の若者の社会的自立に対して、行政が果たしていくべき役割について、副市長に伺いたい。

7 重症心身障害児者への支援施策について

- (1) 重症心身障害児者への理解を深めていくために、今回の施設運営では、どのような取組をしていくのか。
- (2) 現在の重症心身障害児者数の状況と、今後どのような方針で整備に取り組むのか伺いたい。
- (3) 在宅の重症心身障害児者が、将来も安心して暮らすことができるような多様な支援策を市全体で構築することが重要と考えるが、副市長の考えを伺いたい。

### 3 藤崎 浩太郎 委員（みんな）

#### 1 児童虐待対策の推進について

- (1) 児童虐待の発生状況について、伺いたい。
- (2) 発生した重篤事例を踏まえ、どのように対応しているのか。
- (3) 産前産後ケア事業の見直し理由とその効果について、伺いたい。
- (4) 産後母子ケアモデル事業の取組について
  - ア 事業が必要になった理由と目的について、伺いたい。
  - イ 事業の具体的な内容について、伺いたい。
  - ウ 事業をどのような観点で検証していくのか。
- (5) システムの活用について
  - ア 母子保健システムの目的と効果について、伺いたい。
  - イ 養育支援台帳システムの改修の目的と効果はなにか。
  - ウ 様々なデータを蓄積して分析することにより、児童虐待の発生予防や再発防止に生かすべきではないかと考えるが、どうか。
- (6) 児童虐待を早期発見するために、地域との連携をどのように進めていくのか。

#### 2 地域子育て支援について

- (1) 地域子育て支援施策として、どのようなことを展開しているか。
- (2) 地域子育て支援拠点の今年度の利用実績は、どうなっているか。
- (3) 地域子育て支援拠点での相談内容は、どのようなものが多いのか。
- (4) 相談から見えてくる親子の状態像をどのように捉えているか。
- (5) 親子が孤立化しないよう、対策をどのように進めていくのか。

#### 3 子育て施策に関する情報戦略について

- (1) 本市の子育て支援として、他都市に比べ、特色のある事業はどのようなものがあるのか。
- (2) 市外にお住まいの方々へ本市の子育て施策の魅力を発信し、理解してもらうことの重要性について、考えを伺いたい。

(3) スマートフォンの普及やアプリケーションの利用も視野に、子育て環境としても、オープンデータを活用できることが重要と考えるが、考えを伺いたい。

1 放課後児童クラブについて

- (1) 実際の活動場所の実態把握は、どのように行っているのか。
- (2) 今後、活動場所に関してどのように詳細な情報把握を行うのか。
- (3) 基準による29か所の内訳は、児童数によるものなのか、面積によるものなのか。
- (4) 対象児童を段階的に拡充し、きちんとスケジュールを立てて保護者に周知していく必要があると考えるがどうか。
- (5) 移転に際して調整を図ることと併せて、市の責任を持った指導によって適正配置が必要と考えるがどうか。
- (6) 今後の移転支援業務はどこが責任を持って担当していくのか。
- (7) 現在運営している放課後児童クラブの設備の改善に関する補助を行う考えはないのか。

2 パーソナル・サポート・サービスモデル事業の終了について

- (1) 国の事業は終了するという案内を、本市は利用者に対して、どのように伝えたか。
- (2) 本市においても、4月以降空白なく、若者サポートステーション機能強化事業として、支援を継続していくということでもいいか。
- (3) この事業をどのように評価しているのか。
- (4) 国が事業を終了しても、市は単独事業として実施するべきと考えるが、なぜできないのか。
- (5) 引き継ぎにあたり、同じ規模の人員配置がされるのか。
- (6) この人員体制で良しとするのか。
- (7) 伴走型の支援ができなくなる分を、市費で上乗せできないか。
- (8) 支援者や支援内容が変わることは、利用者にとって大きな負担であり、その分の手当が必要ではないか。
- (9) 40歳以上の利用者を別の機関につなげるということだが、これまでの伴走

型の支援ができなくなるのではないか。

- (10) これまで支援してきた方の状況が激変しないように、手当てが必要と考えるが、副市長の考えを伺いたい。

5 藤代哲夫委員（自民党）

1 大規模マンション開発と連携した保育所整備について

- (1) 大規模マンションに認可保育所が設置されている件数について、伺いたい。
- (2) 要綱制定にあたっての市民意見募集における意見の内容は、どのようなものがあつたか。
- (3) 従来の協議制度との相違点や工夫した点はなにか。
- (4) 開発事業者に向けたインセンティブはどのようなものが用意されているか。
- (5) 新たな要綱による協議件数の見込みはどの程度か。
- (6) 要綱において放課後児童クラブへの対応がどのように扱われているか。
- (7) 保育所の認可にあたっての園長の資質はどうあるべきか、副市長に伺いたい。

2 保育所耐震対策事業について

- (1) 市立保育所の耐震化状況について、伺いたい。
- (2) 民間保育所の耐震化状況について、伺いたい。
- (3) 民間保育所の耐震化にどのような課題があるか。
- (4) 25年度以降の民間保育所耐震化にどのように取り組むのか。

3 放課後児童クラブ移行のための支援について

- (1) 放課後児童クラブの活動場所の状況は、どのようになっているか。
- (2) 活動場所の確保に関する課題は、どのようなものか。
- (3) 分割・耐震移転補助の内容について、伺いたい。
- (4) 学校施設の活用など様々な手法が必要と思うが、今後の活動場所確保に向けた検討をどのように行うのか。

4 DV対策の推進について

- (1) DV相談支援センター専用電話の相談実績について、伺いたい。
- (2) 暴力の種類及び被害者からの主な相談内容はどのようになっているのか。
- (3) 地域関係者との連携に向けた取組について、伺いたい。

(4) 男性からの相談はどのような状況であるか。

(5) DV加害者への対策について、伺いたい。

1 今後の子育て支援策の展開について

- (1) 定員割れへの対策として、どのようなことに取り組んでいるのか。
- (2) 今後は、自宅で子どもをみるという選択を促進する施策など、在宅や地域での子育て支援施策の一層の展開が重要だと思うが、見解を伺いたい。
- (3) 企業における子育て関連の施策としては、どのような取組がなされているのか。
- (4) 育児休業手当の上乗せ支給など、家庭での子育てを支援する制度を導入すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 子ども・子育て会議をどのように進めていくのか、メンバー構成も含めて伺いたい。

2 放課後児童育成事業について

- (1) 保育所の待機児童がゼロになり、この世代の子どもたちが学齢期になると、放課後事業はどの程度事業規模が拡大するのかのシミュレーションをどのようにしているのか。
- (2) 放課後児童クラブを含む3つの事業を、今後も実施し続けていくのか。
- (3) 各事業1か所あたりの本市の経費は、どのようになっているのか。
- (4) 見直しに際して、行政と保護者負担の割合や費用対効果等について、それぞれの事業を点検すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 放課後児童クラブの保護者負担の割合についての見解を伺いたい。
- (6) 放課後事業は、様々な地域の力を取り入れるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (7) 今後は、放課後児童クラブをどんどん作るような政策にシフトすることがあるのか。

3 児童虐待対策の推進について

- (1) 親になる前の段階から、児童虐待を防止するために、具体的にどのような取

組を行っているのか。

(2) 児童虐待を防止する上で、学校とどのように連携していくのか。

(3) 虐待につながりやすい家庭環境の家族を類型化するなどして的確に把握しているのか、そういった傾向を研究して対策に生かしているのか。

(4) 児童相談所に付与されている法的権限の行使の現状について、伺いたい。

(5) 児童相談所に付与されている法的権限を円滑に行使するための工夫はなにか。

(6) 連携強化に力点をおいて、児童虐待対策を推進することへの決意について、副市長に伺いたい。

#### 4 ひとり親への支援について

(1) 児童扶養手当を受けているひとり親家庭の生活状況について、伺いたい。

(2) 特別乗車券の交付要件及び利用状況の実態把握について、伺いたい。

(3) 特別乗車券を子どもが使っている場合の割合について、伺いたい。

(4) 特別乗車券を子どもがどのような使い方をしているか、伺いたい。

(5) 特別乗車券に男女別がある理由について、伺いたい。

(6) ひとり親の特別乗車券の経費削減に向けた取組について、伺いたい。

#### 5 よこはま型若者自立塾について

(1) 今年度のよこはま型若者自立塾の活動実績について、伺いたい。

(2) 農業を通じた長期・継続型訓練の効果について、伺いたい。

(3) 今後、農業を通じた長期訓練施設を拡充していくべきと思うが、見解を伺いたい。